

モルタル・コンクリート面

①平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ポウジンテックス 浸透性シーラーエポ主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	既調合 (無希釈)	ハケ ローラー	1	0.12 ~0.16	88 ~117	1h以内	-	4h以上 48h以内	-
上塗り	ポウジンテックス #2000 主剤12kg 硬化剤4kg	10~20% #2000シンナー	ハケ ローラー	2	0.16 ~0.2	40 ~50	4h以内	6h以上	-	16h以上 完全硬化 2日以上

※上塗り1回目に歩行用防滑骨材を混合することにより、軽歩行用防滑仕上げが可能です。（添加量:300g/1セット）

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※シーラーのすい込みがはげしい場合は2回塗りをしてください。

※抗菌効果が必要な床には上塗りにポウジンテックス #2000抗菌をご使用ください。

②防滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ポウジンテックス浸透性シーラーエポ主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	既調合 (無希釈)	ハケ ローラー	1	0.12 ~0.16	88 ~117	1h以内	-	4h以上 48h以内	-
中塗り	ポウジンテックス #2000 主剤12kg 硬化剤4kg	10~20% #2000シンナー	ハケ ローラー	1	0.16 ~0.2	80 ~100	4h以内	-	6h以上	-
珪砂散布	中塗り乾燥までに5~6号珪砂を0.1~0.3kg/m <sup>2</sup> 均一に散布する。									
上塗り	ポウジンテックス #2000 主剤12kg 硬化剤4kg	10~20% #2000シンナー	ハケ ローラー	2	0.16 ~0.2	40 ~50	4h以内	6h以上	-	16h以上 完全硬化 2日以上

※抗菌効果が必要な床には上塗りにポウジンテックス #2000抗菌をご使用ください。

※塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※シーラーのすい込みがはげしい場合は2回塗りをしてください。

③その他の下塗剤（1液型）

下塗り	ポウジンテックス強化シーラー 16kg	0~10% #5000U シンナー	ハケ ローラー	1	0.12 ~0.16	100 ~133	-	-	4h以上 24h以内	-
-----	---------------------	-------------------------	------------	---	---------------	-------------	---	---	---------------	---

※上記仕様の下塗り（浸透性シーラーエポ）の代わりにポウジンテックス 強化シーラーも可能です。また塗り替え時、旧塗膜の種類により、強化シーラーを使用する場合があります。

※シーラーのすい込みがはげしい場合は2回塗りをしてください。